

大里中学校 技術科シラバス 1 学年



1 授業のねらい（身につけて欲しい力）

教科書名「新しい技術・家庭 技術分野」
補助教材「材料と加工の技術ノート」

- ・材料や加工の特性等の原理・法則と、材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。
- ・技術に込められた問題解決の工夫について考えることができること。
- ・製作に必要な図を描き、安全・適切な製作や検査・点検が等ができること。
- ・問題を見いだして課題を設定し、材料の選択や成型の方法等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができること。
- ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解すること。
- ・技術を評価し、適切な選択と管理・運用のあり方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えることができること。

2 授業の進め方

- ・新しい用語の意味を調べ理解する。
- ・課題を班、或いは個人で解決し発表をする。
- ・説明をする。
- ・まとめ・振り返り・ノートをまとめる。

3 学習上の留意点

- ・工具等を使用するため、安全第一に考え、安全指導を徹底する。
- ・材料と加工の技術の基礎的・基本的な学習内容と工具や機器の正しい使用方法等を身に付けさせる。
- ・実習を課題解決と捉えさせ、完成した製作品を家等で使用することによって課題が解決され、新たな課題を見つけ、改善修正に結び付けるようにする。

4 補助教材の活用方法（自学自習の進め方）

- ・タブレットは、調べ学習と発表に使用する。
- ・ノートは、本時の目標の確かめや、まとめに使用する。

5 単元テスト

- ・単元テストは基本的に2回実施する。
- ・基礎的・基本的学習内容が終了した、次の授業で第1回単元テストを実施する。
- ・工具などの名称や使い方が終了した、次の授業で第2回単元テストを実施する。

単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみとって評価します。

6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	・基礎的・基本的な学習内容が身についているか。 ・既習事項を実践で正しく使用し完成させ製作品を持ち帰ること。	・製作者や開発者等が製品や機器に込められた技術の工夫について考えようとしているか。 ・設計・製作・製作後の工夫・改善・修正について考えようとしているか。（自ら考え思考・判断・表現しているか）	・1時間毎に意欲的に学習に取り組んでいるか。 ・課題解決学習に主体的に取り組んでいるか。
方法	・単元テスト ・課題解決学習(実習)	・学習プリント ・エネルギー変換の技術ノート ・設計・製作(課題解決学習)	・授業態度は良いか。 ・学習プリントが提出されているか ・課題解決学習に取り組んでいるか。 ・期限内に課題を提出しているか。

この方法で学習状況をみとり、各単元ごとで示す「ループリック」に照らして評価します。

7 授業計画（見通しを持って予習・復習の自学自習に取り組みましょう。提出物も忘れずに！）

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
2 学期	10 11 12 1	身の回りの材料と加工の技術 木材、金属、プラスチックの特性 材料に適した加工方法 丈夫な構造 材料と加工の技術の工夫の読み取り 製作品の構想、設計 製図 製作の準備 作業手順を考えた製作 問題解決の評価、改善、修正 材料と加工の技術の最適化 これからの材料と加工の技術	・ 学習規律が厳守できているか ・ 学習プリント記入と提出の状況 ・ ノートまとめと提出の状況 ・ 単元テストの到達度 ・ 課題解決学習に臨む姿勢と完成度、持ち帰りの状況	材料や加工の特性等の原理・原則と材料の製造・加工方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解ができる。 工具や機器の正しい使用方法を身に付けることができる。 問題を見いだして課題を設定し、それを解決するために構想して設計を具体化し、製作の結果を評価、改善・修正することができる。
3 学期	2 3	情報の技術とは 情報のデジタル化 情報ネットワークの仕組み 安全に利用するための情報モラル 安全に利用するための情報セキュリティ 情報の施術の工夫の読み取り	同上	・ 情報手段の特徴や生活とコンピュータとの関わりについて理解できる。 ・ 情報化が社会や生活に及ぼす影響を知り、情報モラルの必要性について理解できる。 ・ コンピュータの基本的な構成と機能及び操作ができる。